

## 目標達成計画

作成日: 平成23年 2月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	【利用者アンケートより】職員が2～3年で辞めて行くので、労働環境を考えて欲しい。	可能な限り、当ホームで働いていただけるような環境作り。	【管理者が掲げる離職率0%への取り組み】 ・感謝の気持ちを伝える「ありがとう」運動 ・職員との面談(本社主導)は行うが、何気ない日常会話の中からスタッフの悩みや今思っていることを拾う。 ・人間関係を円滑にするため、飲み会の設定(2～3ヶ月に1度) また、職員同士の良いところの褒めあう「サンキューカード」の実施。 ・スタッフのやりたいこと夢をどうやったら実現するか一緒に考える。	12ヶ月
2	25	【利用者アンケートより】筋力低下しないためホームで取り組んでいる点をもう少しアピールする必要があるのでは？	今いるご利用者さまが1年後同じ状態(認知面も身体状況も)でいること。	【ホーム全体のとりくみ】 ・散歩と階段の上り下り ・踏み台昇降運動 ・リハビリマッサージの導入	12ヶ月
3	25	【利用者アンケートより】身体面や認知が現在の程度なのか把握できればうれしい。	現在の程度の身体、認知状況なのかを適確に知ることが出来る(希望家族のみ)	主治医と相談し、主治医で判断できる場合はマンテラの実施を適宜、専門的に数値を知りたい場合は、認知症外来への受診を勧める。	2ヶ月
4	45	【外部評価員より】1日に9名が入浴するため、少しあわただしいのではないかとされます。週の入浴日を増やす等して全員がゆったり入浴できるように出来ないか検討が望まれます。	おひとり40分の入浴時間を設けます。	・重度化されている入居者とADLが自立されているご利用者の入浴日を分けて、そのご利用者さまに応じた入浴方法を試したいと思う。適宜、検討をしていく。	1ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。